

# 平成29年3月期 第2四半期 決算の概要

平成28年11月17日  
(株)今仙電機製作所  
東証1・名証1  
証券コード 7266

[www.imasen.co.jp](http://www.imasen.co.jp)

# I. 第2四半期の状況（前年同期比較）

## 2Q連結決算ハイライト



百万円	前年同期実績 (H27年9月期)	当期実績 (H28年9月期)	増減率	
			増減額	増減率
売上高	58,995	54,571	▲4,424	▲7.5%
営業利益	1,479	648	▲831	▲56.2%
経常利益	1,510	▲435	▲1,945	-
当期純利益	964	▲872	▲1,836	-
1株当たり純利益	47.07円	▲42.55円	▲89.62円	-

### POINT

国内の生産減少や為替の影響などにより、減収減益となりました

### ご参考

USD 28/9期 111.70円 27/9期 120.30円 8.60円の円高  
 CNY 28/9期 17.05円 27/9期 19.33円 2.28円の円高  
 THB 28/9期 3.15円 27/9期 3.65円 0.50円の円高

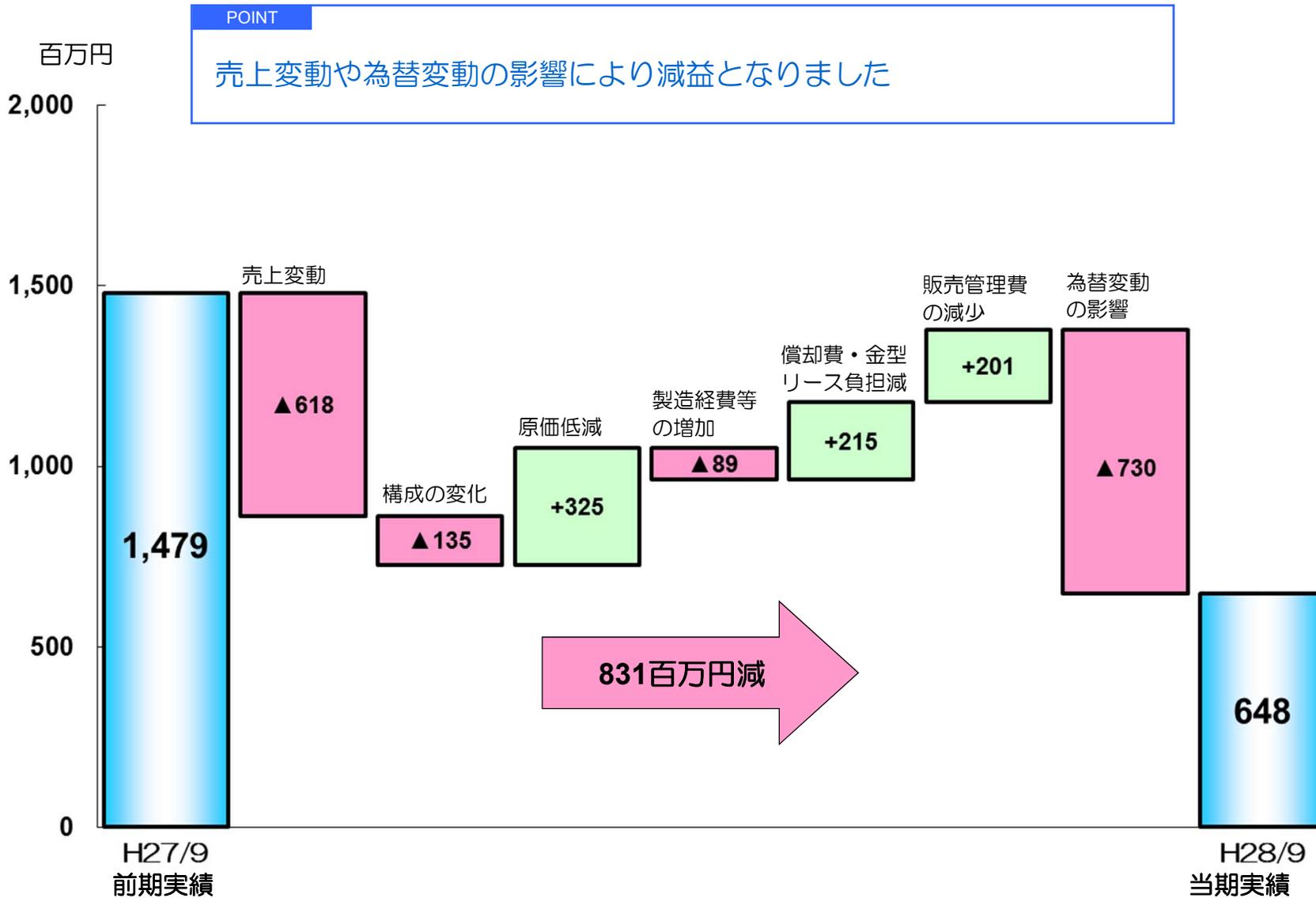
## 2Q連結決算ハイライト

百万円	前期実績 (H28年3月期)	当期実績 (H28年9月期)	増減	
			増減額	増減率
総資産	86,311	74,924	▲ 11,387	▲ 13.2%
純資産	45,881	42,493	▲ 3,388	▲ 7.4%
自己資本比率	52.7%	56.2%	-	-
1株当たり 純資産	2,217.74円	2,055.18円	▲ 162.56円	▲ 7.3%

### POINT

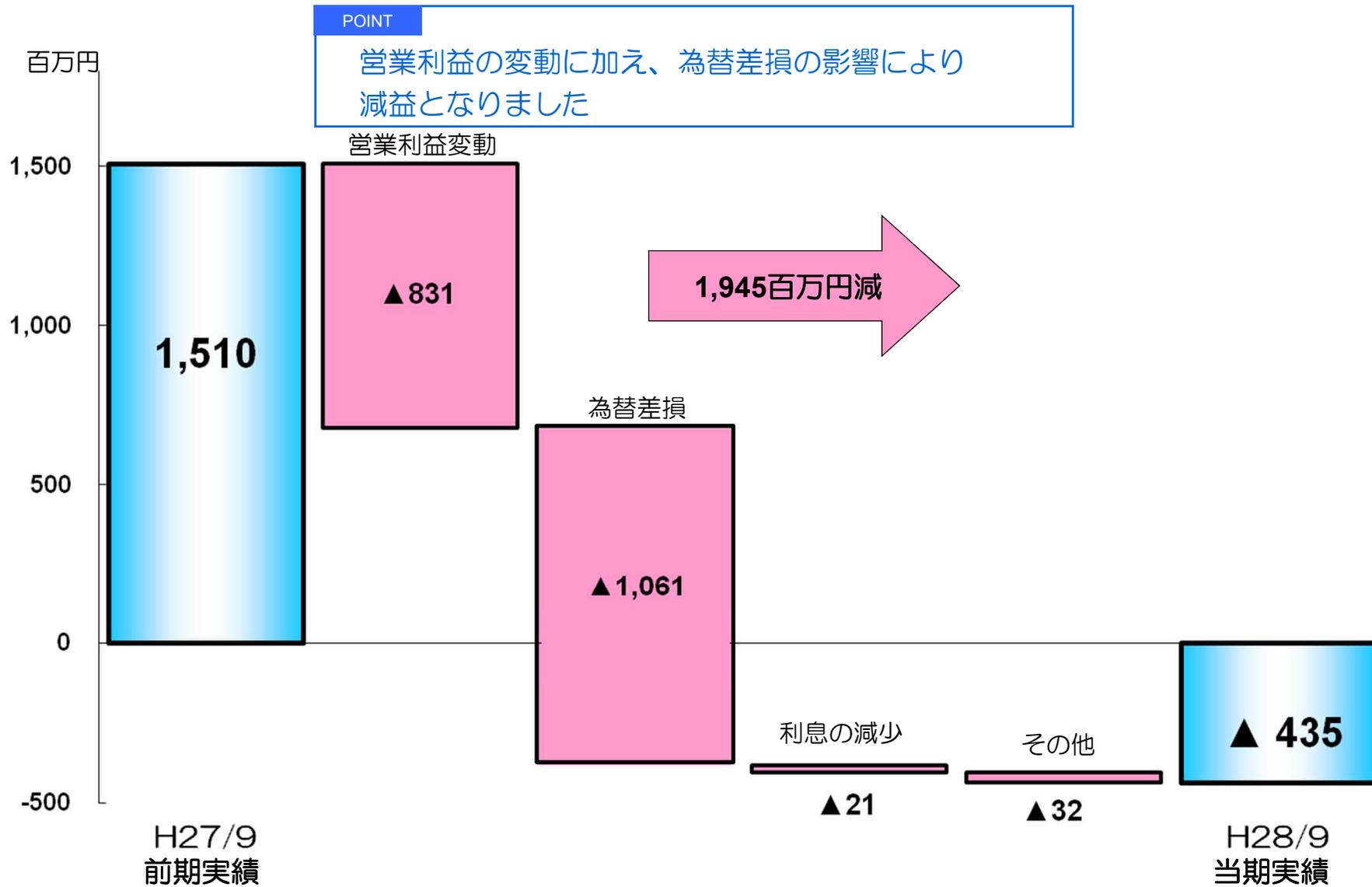
借入金返済を進めたことや有形固定資産の減少などにより、総資産は減少しております

# 2Q実績 前年同期比変動要因：営業利益



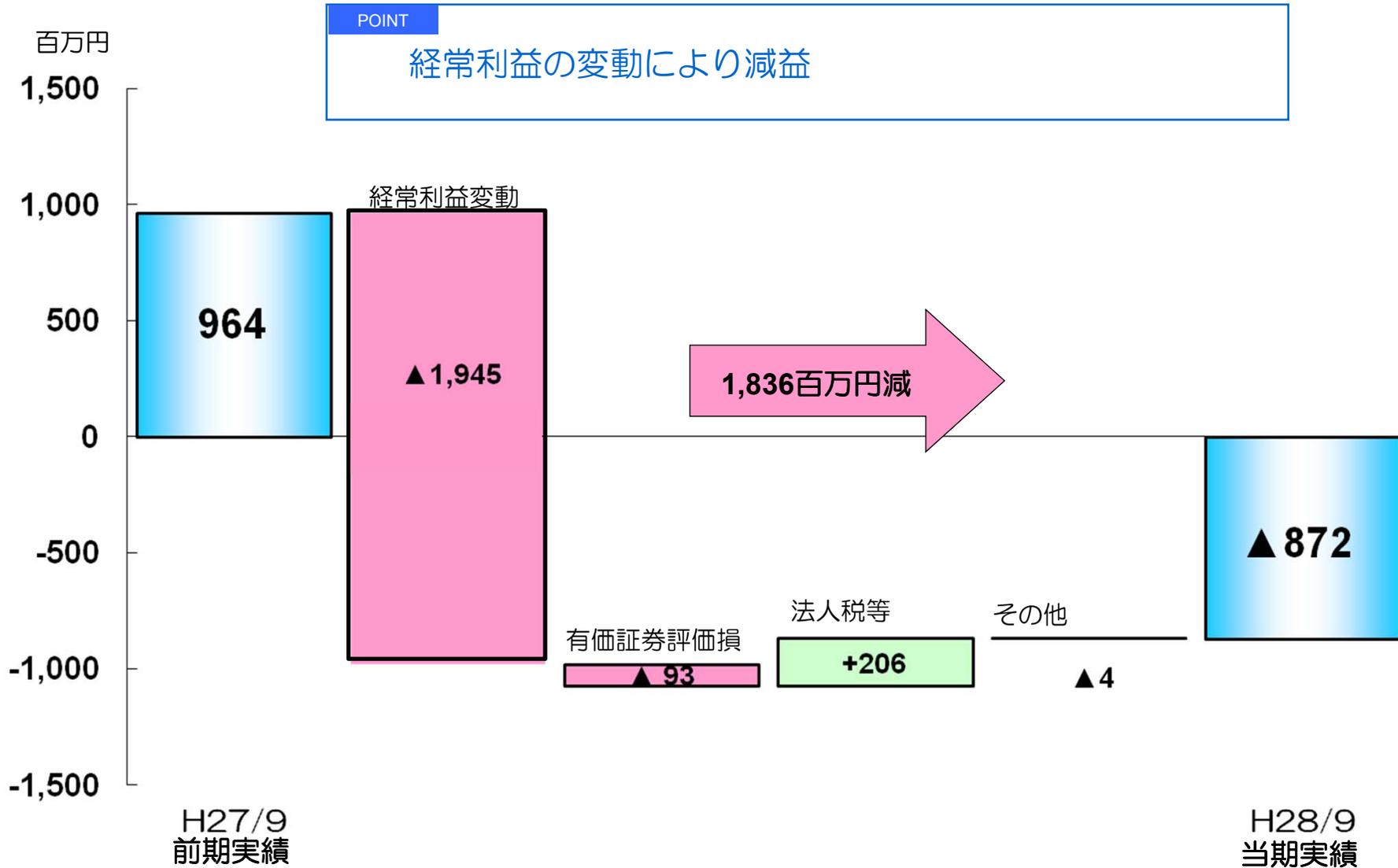
本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複製及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

# 2Q実績 前年同期比変動要因：経常利益



本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複製及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

# 2Q実績 前年同期比変動要因：当期純利益

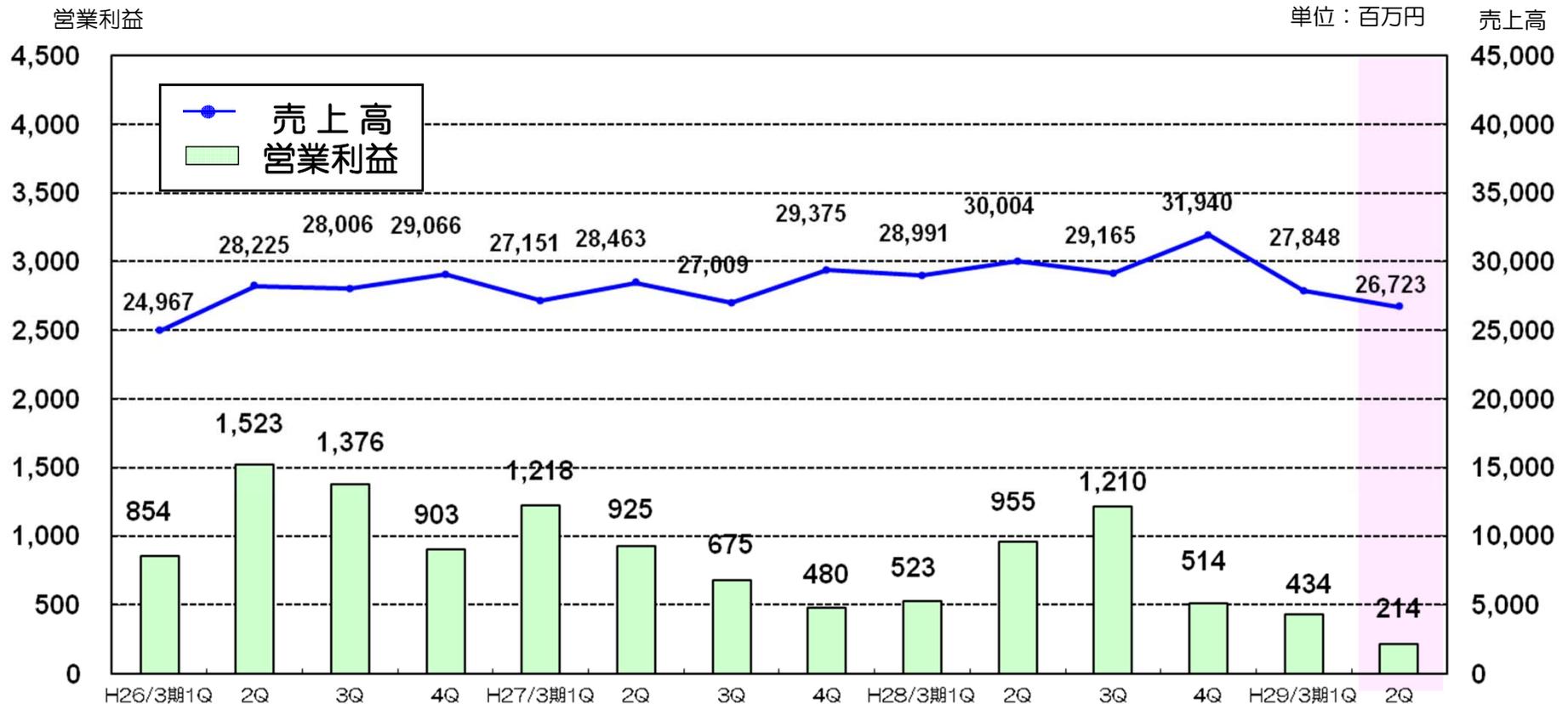


本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複製及び無断転載をご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

# 四半期業績の推移



## ■連結売上高・営業利益の推移



### POINT

H29/3期1Qと2Qの比較では為替影響により減収減益となりました

# 事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

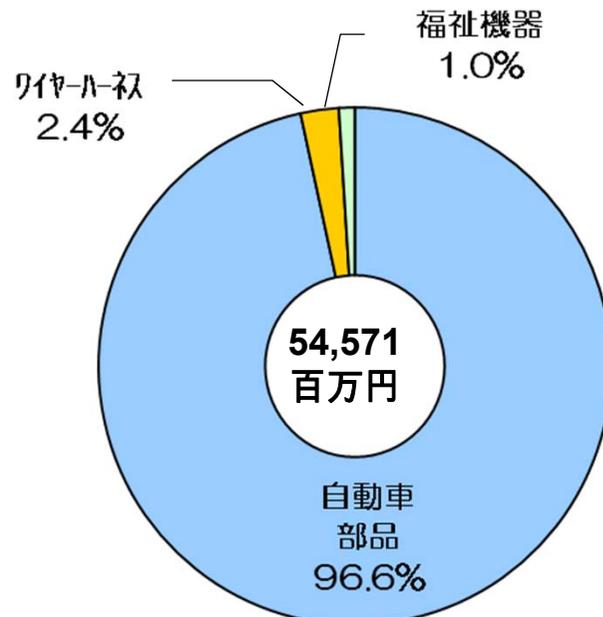


百万円		自動車部品 関連事業	ワイヤハーブ 関連事業	福祉機器 関連事業	連結
外部売上高	H28/9期	52,747	1,301	522	54,571
	H27/9期	57,000	1,451	543	58,995
	増減額	▲ 4,253	▲ 150	▲ 21	▲ 4,424
営業利益	H28/9期	730	▲ 83	▲ 3	648
	H27/9期	1,556	▲ 90	8	1,479
	増減額	▲ 826	7	▲ 11	▲ 831

## POINT

■ 主要事業である自動車部品関連事業において、国内の生産減少や円高の影響などにより減益となりました

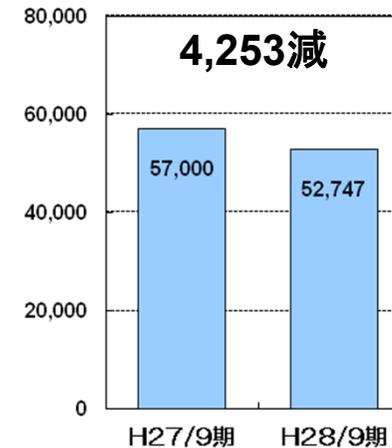
事業の種類別売上高構成



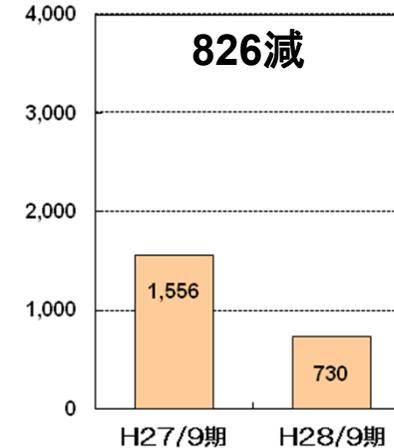
## 自動車部品関連事業

百万円

外部売上高



営業利益



本資料の内容に関する一切の権利は(株)仙電機製作所に帰属しています。複製及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

# 事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

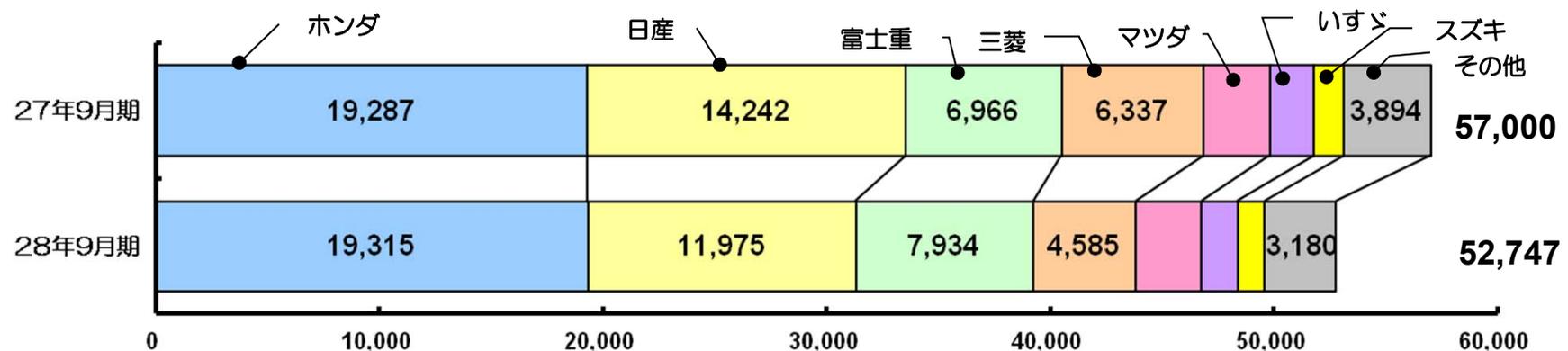


## 得意先系列別 売上高構成

百万円	前期		当期		増減	
		構成比		構成比	額	率
本田技研工業(株)	19,287	33.8%	19,315	36.6%	28	0.1%
日産自動車(株)	14,242	25.0%	11,975	22.7%	▲ 2,267	▲ 15.9%
富士重工業(株)	6,966	12.2%	7,934	15.0%	968	13.9%
三菱自動車工業(株)	6,337	11.1%	4,585	8.7%	▲ 1,752	▲ 27.6%
マツダ(株)	2,972	5.2%	2,931	5.6%	▲ 41	▲ 1.4%
いすゞ自動車(株)	1,986	3.5%	1,617	3.1%	▲ 369	▲ 18.6%
スズキ(株)	1,316	2.3%	1,210	2.3%	▲ 106	▲ 8.1%
ダイハツ工業(株)	364	0.6%	339	0.6%	▲ 25	▲ 6.9%
トヨタ自動車(株)	323	0.6%	295	0.6%	▲ 28	▲ 8.7%
日野自動車(株)	196	0.3%	175	0.3%	▲ 21	▲ 10.7%
ヤマハ発動機(株)	84	0.1%	63	0.1%	▲ 21	▲ 25.0%
その他	2,928	5.3%	2,308	4.4%	▲ 620	▲ 21.2%
合計	57,000	100.0%	52,747	100.0%	▲ 4,253	▲ 7.5%

### POINT

- 日産系列向け
  - ・ 北米、国内における生産減少と為替影響
- 富士重系列向け
  - ・ 北米、国内における生産増加
- 三菱系列向け
  - ・ 国内、タイにおける生産減少



本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

# 事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業



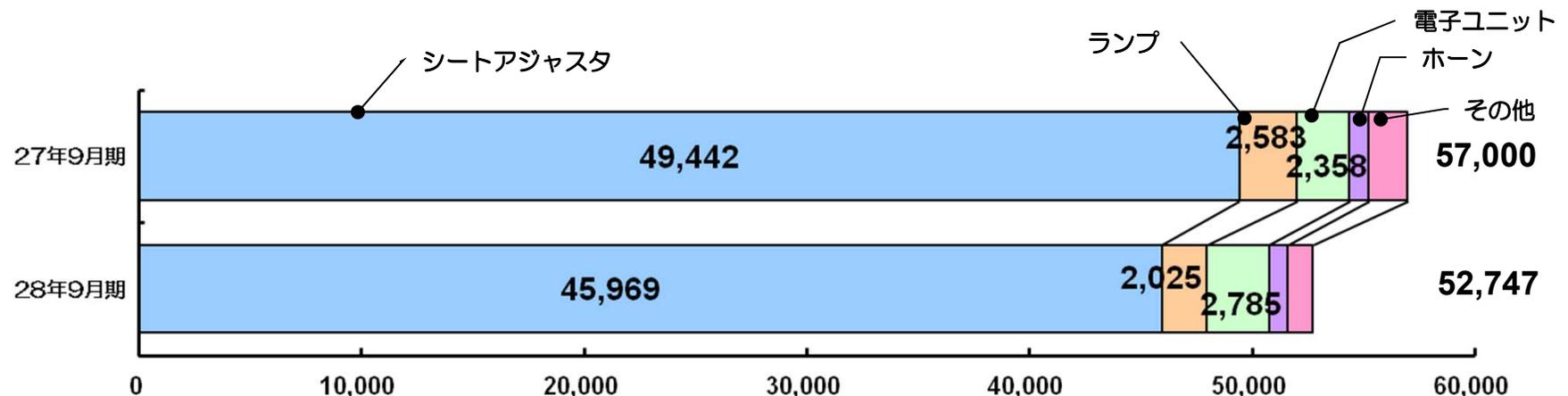
## ■機種別 売上高構成

百万円	前期		当期		増減	
		構成比		構成比	額	率
(1)機構部品	49,442	86.8%	45,969	87.2%	▲ 3,473	▲ 7.0%
シートアジャスタ	49,442	86.8%	45,969	87.2%	▲ 3,473	▲ 7.0%
(2)電装部品	5,806	10.1%	5,651	10.7%	▲ 155	▲ 2.7%
ランプ	2,583	4.5%	2,025	3.8%	▲ 558	▲ 21.6%
電子ユニット	2,358	4.1%	2,785	5.3%	▲ 427	▲ 18.1%
ホーン	864	1.5%	841	1.6%	▲ 23	▲ 2.7%
(3)その他	1,752	3.1%	1,127	2.1%	▲ 625	▲ 35.7%
合計	57,000	100.0%	52,747	100.0%	▲ 4,253	▲ 7.5%

### POINT

■ 主力製品であるシートアジャスタは国内での減産影響や為替影響などにより減少しました

■ 電子ユニットは中国での生産が増加しました



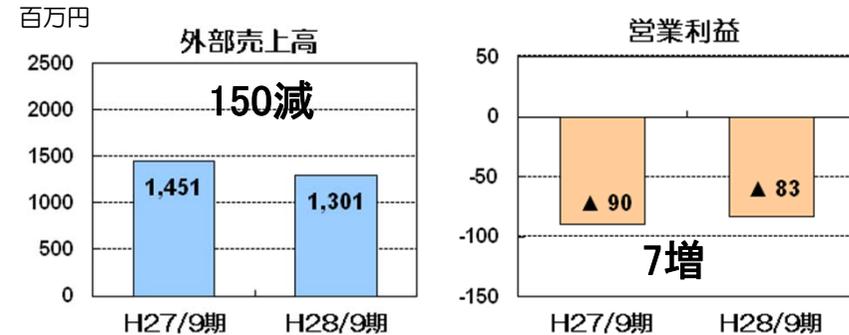
# 事業の種類別セグメント：その他の事業



## ■ワイヤーハーネス関連事業

### POINT

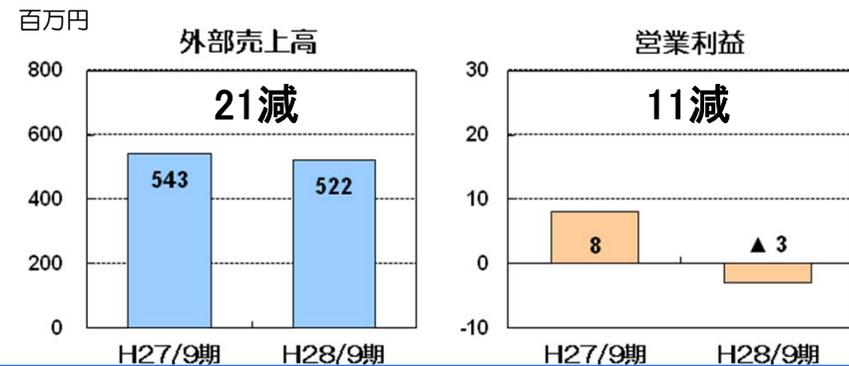
航空機関連の受注減少と工作機械業界の低迷により減収となりました



## ■福祉機器関連事業

### POINT

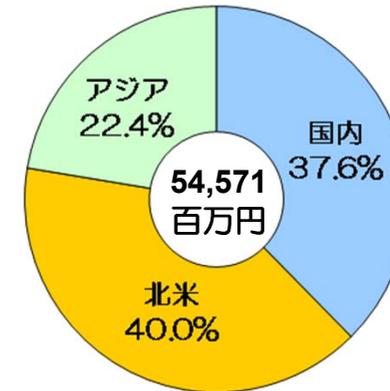
無動力歩行支援機「ACSIVE」の販売減少により減収減益となりました



## ■所在地別売上高構成

百万円		国内	北米	アジア	連結
外部売上高	H28/9期	20,529	21,820	12,221	54,571
	H27/9期	23,155	22,581	13,257	58,995
	増減額	▲ 2,626	▲ 761	▲ 1,036	▲ 4,424
営業利益	H28/9期	▲ 583	501	655	648
	H27/9期	395	19	1,003	1,479
	増減額	▲ 978	482	▲ 348	▲ 831

所在地別 外部売上高



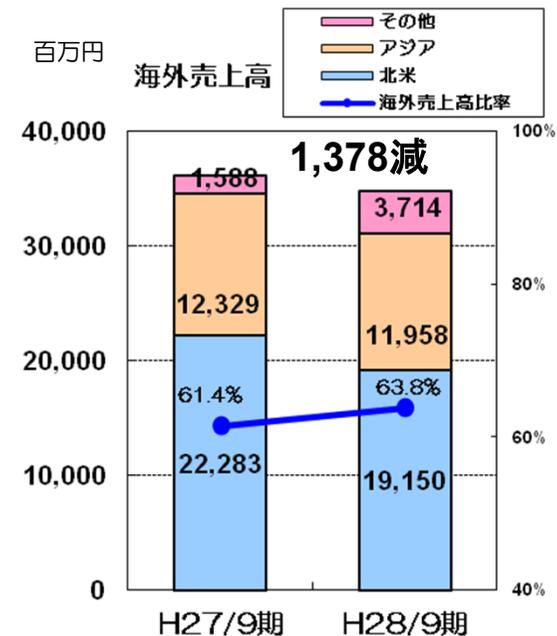
## ■海外売上高

百万円	国内	北米	アジア	その他	連結
H28/9	20,240	19,150	11,958	3,714	54,571
H27/9	22,794	22,283	12,329	1,588	58,995
増減額	▲ 2,554	▲ 3,133	▲ 371	2,126	▲ 4,424

※海外売上高とは顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

### POINT

- 所在地別売上高は各地にて減収となりましたが、原価低減効果から北米において増益となりました
- 海外売上高比率は63.8%に増加しております

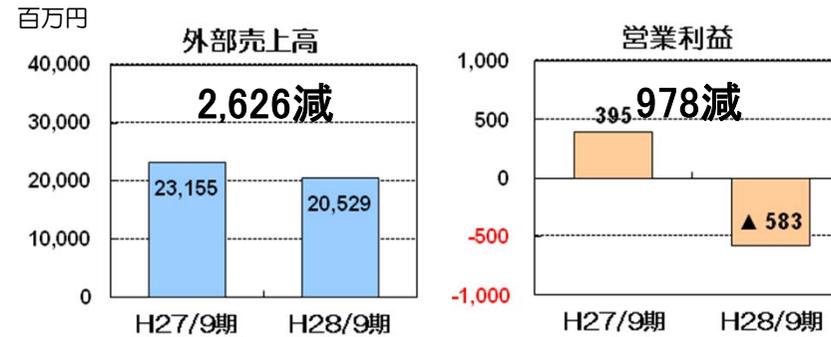


# 所在地別セグメント

## 国内

### POINT

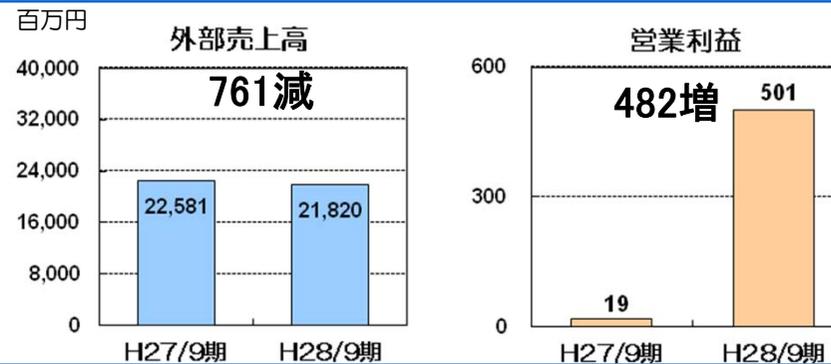
三菱向けの生産が減少したことなどから減収減益となりました



## 北米

### POINT

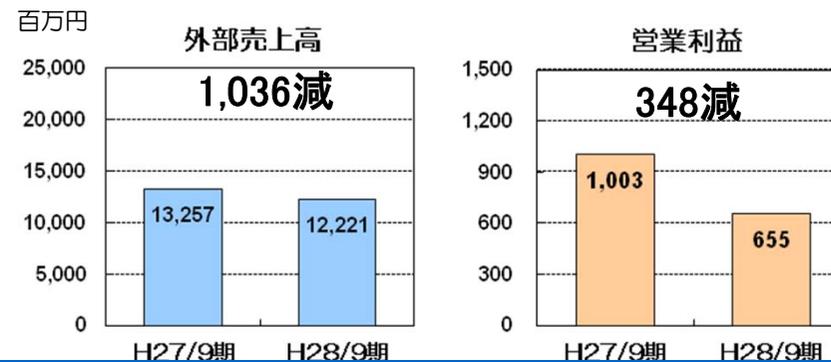
為替の影響を受けたものの、原価低減効果により増益となりました



## アジア

### POINT

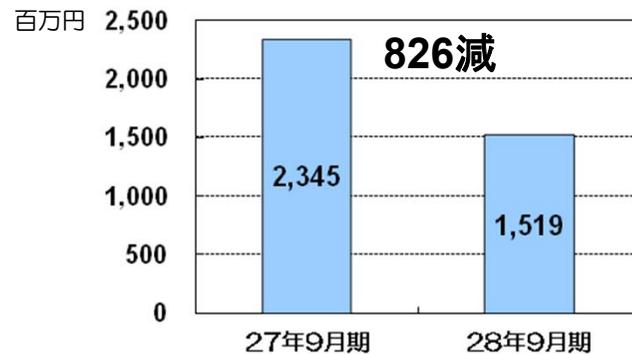
タイでの生産減少と為替影響が影響し減収減益となりました



## 設備投資

### POINT

前期に比べ設備投資を抑制しております

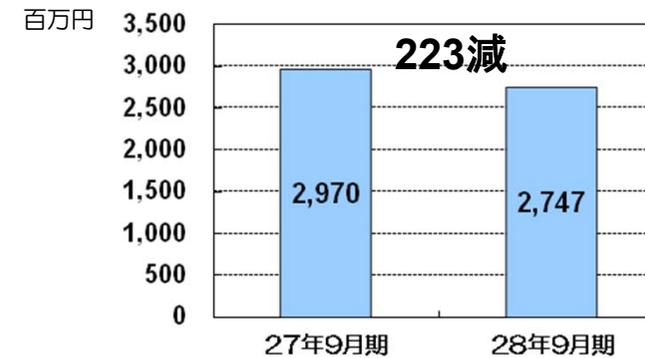


	27年9月期 (実績)	28年9月期 (実績)	前期比増減
日本	1,160	564	▲ 596
北米	117	346	▲ 229
メキシコ	176	161	▲ 15
中国	612	216	▲ 396
タイ	211	195	▲ 16
フィリピン	10	19	▲ 9
台湾	11	14	▲ 3
インド	25	1	▲ 24
インドネシア	39	3	▲ 36
合計	2,345	1,519	▲ 826

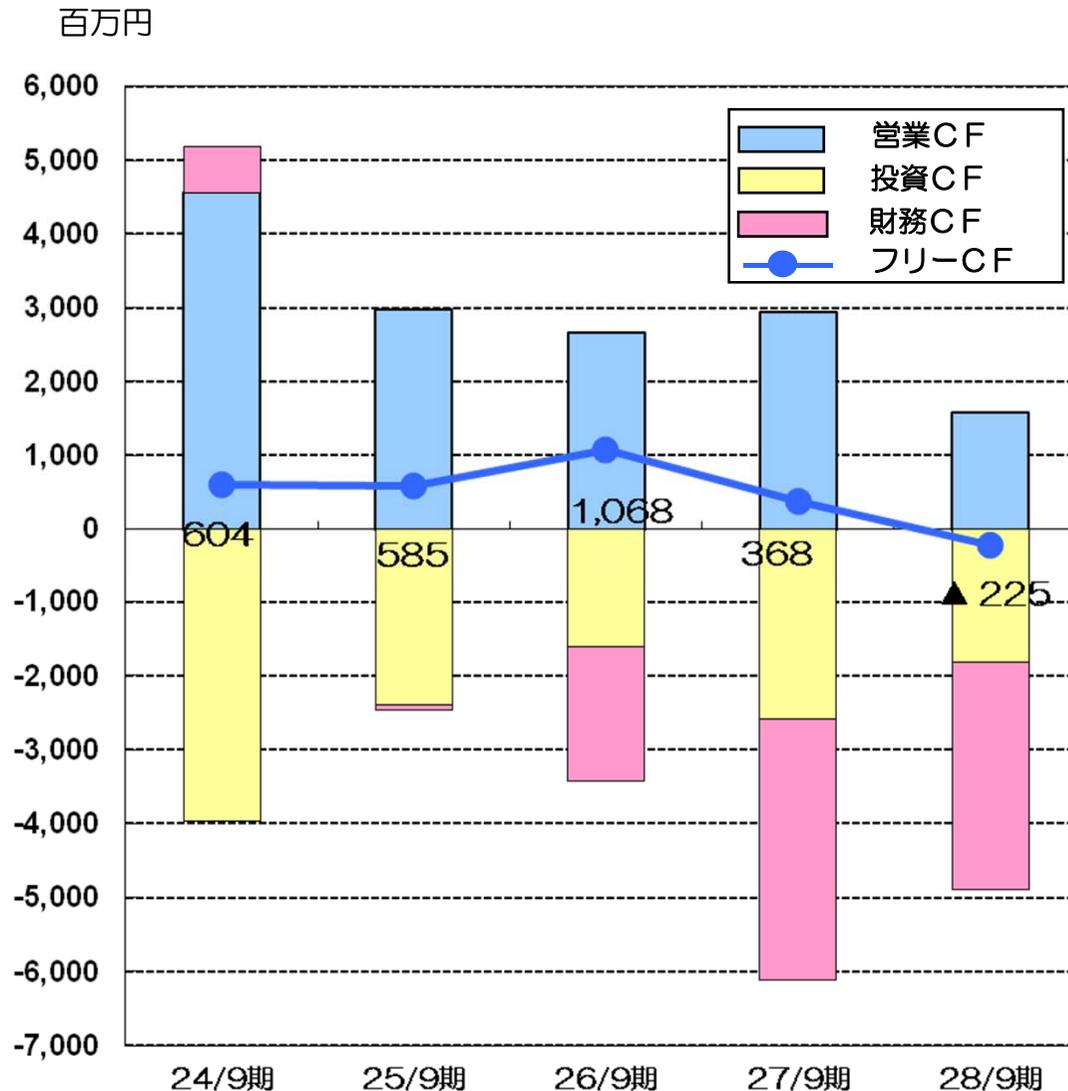
## 減価償却費

### POINT

前期までの投資抑制により、  
減価償却費は減少しております



	27年9月期 (実績)	28年9月期 (実績)	前期比増減
日本	1,440	1,311	▲ 129
北米	874	740	▲ 134
メキシコ	49	51	▲ 2
中国	260	326	▲ 66
タイ	232	222	▲ 10
フィリピン	49	47	▲ 2
台湾	20	17	▲ 3
インド	39	25	▲ 14
インドネシア	2	5	▲ 3
合計	2,970	2,747	▲ 223



## POINT

■ 投資CFは有形固定資産の取得に対する支払いが減少しました

■ 財務CFは借入金の返済により減少しました

■ フリーCFは▲225百万円となりました

## Ⅱ. 平成29年3月期 業績見通し概要

# 29/3期 業績予想



百万円	前期実績 (H28年3月期)	当期期初予想 (H29年3月期)	当期修正予想 (H29年3月期)	11/2付	
				増減額	増減率
売上高	120,100	107,000	<b>108,500</b>	1,500	1.4%
営業利益	3,202	3,000	<b>2,300</b>	▲700	▲23.3%
経常利益	2,747	2,900	<b>1,100</b>	▲1,800	▲62.1%
当期純利益	883	1,700	<b>210</b>	▲1,490	▲87.6%
1株当たり純利益	43.09円	82.93円	<b>10.24円</b>	▲72.69円	▲87.7%

## POINT

国内および北米での生産増加により増収を見込みますが、利益は為替影響などにより期初予想を下回ると予想しております

## ご参考

	29/3期(修正)	29/3期(期初)	28/3期
USD	105.7円	108.0円	121.1円
CNY	15.99円	16.70円	19.23円
THB	3.01円	3.09円	3.54円

下期の為替レートは1ドル100円を想定

## 29/3予想 事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

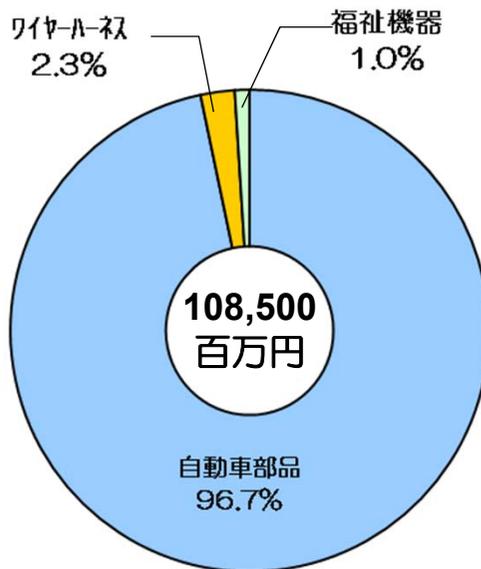


百万円		自動車部品 関連事業	ワイヤーハ ー社 関連事業	福祉機器 関連事業	連結
外部売上高	H29/3期 (修正予想)	104,880	2,550	1,070	108,500
	H28/3期	115,907	3,069	1,123	120,100
	増減額	▲ 11,027	▲ 519	▲ 53	▲ 11,600
営業利益	H29/3期 (修正予想)	2,540	▲ 190	0	2,300
	H28/3期	3,205	▲ 30	16	3,202
	増減額	▲ 665	▲ 160	▲ 16	▲ 902

### POINT

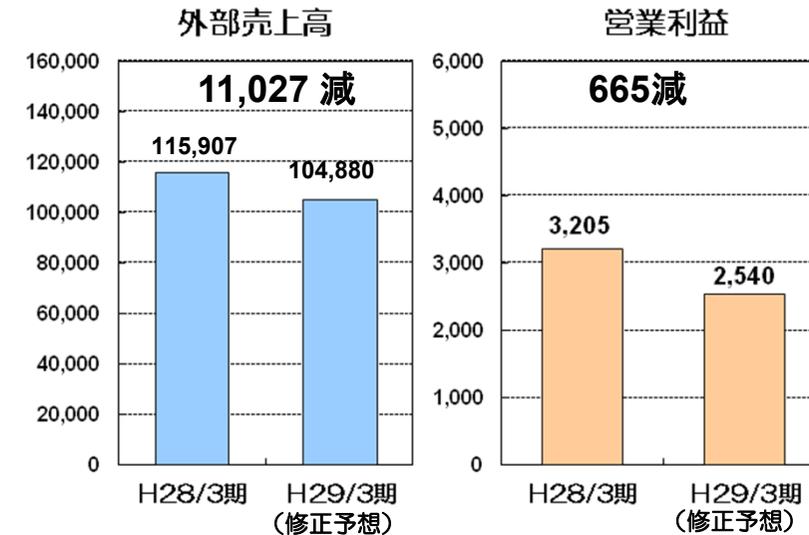
自動車部品関連事業において、国内での生産減少と為替影響などにより減収減益を予想しております

事業の種類別売上高構成



### 自動車部品関連事業

百万円



本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複製及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

■得意先系列別 売上高構成

百万円	前期		当期		当期				前期比	
		構成比	(期初予想)	構成比	(修正予想)	構成比	増減	率	増減	率
本田技研工業(株)	41,314	35.6%	35,040	34.0%	36,510	34.8%	1,470	4.2%	▲ 4,804	▲ 11.6%
日産自動車(株)	28,574	24.7%	25,900	25.2%	23,920	22.8%	▲ 1,980	▲ 7.6%	▲ 4,654	▲ 16.3%
富士重工業(株)	15,620	13.5%	15,150	14.7%	16,030	15.3%	880	5.8%	410	2.6%
三菱自動車工業(株)	12,706	11.0%	10,200	9.9%	10,430	9.9%	230	2.3%	▲ 2,276	▲ 17.9%
マツダ(株)	5,940	5.1%	6,760	6.6%	6,800	6.5%	40	0.6%	860	14.5%
いすゞ自動車(株)	3,758	3.2%	2,720	2.6%	3,240	3.1%	520	19.1%	▲ 518	▲ 13.8%
スズキ(株)	2,719	2.3%	2,520	2.5%	2,390	2.3%	▲ 130	▲ 5.2%	▲ 329	▲ 12.1%
ダイハツ工業(株)	786	0.7%	830	0.8%	830	0.8%	0	0.0%	44	5.6%
トヨタ自動車(株)	671	0.6%	620	0.6%	620	0.6%	0	0.0%	▲ 51	▲ 7.6%
日野自動車(株)	384	0.3%	440	0.4%	440	0.4%	0	0.0%	56	14.6%
ヤマハ発動機(株)	105	0.1%	100	0.1%	100	0.1%	0	0.0%	▲ 5	▲ 4.8%
その他	3,325	2.9%	2,680	2.6%	3,570	3.4%	890	33.2%	245	7.4%
計	115,907	100.0%	102,960	100.0%	104,880	100.0%	1,920	1.9%	▲ 11,027	▲ 9.5%

POINT

【前期実績と予想の比較】

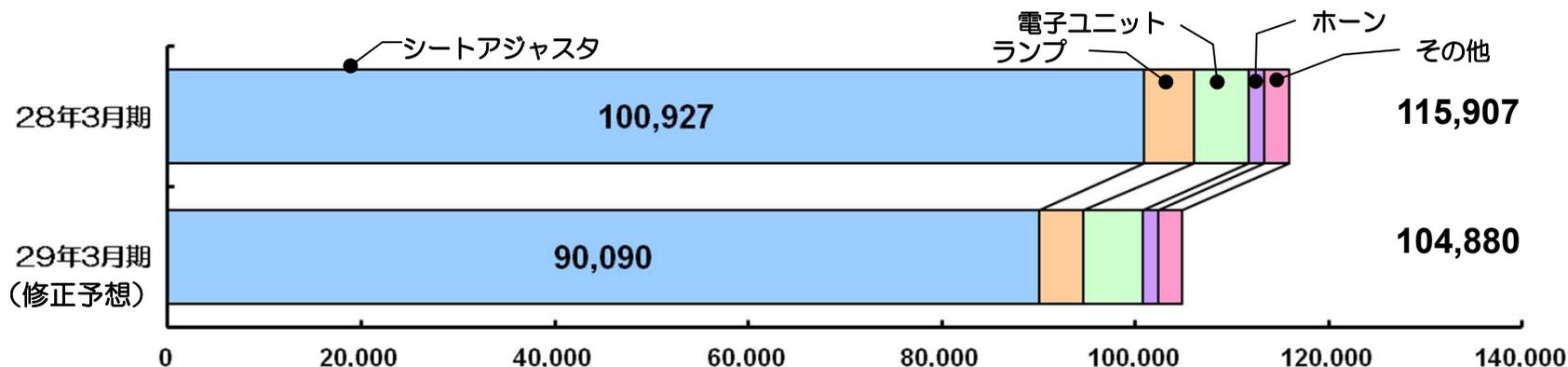
- ホンダ系列向け
  - ・北米、中国の為替影響による減少
- 日産系列向け
  - ・北米、中国の為替影響による減少
- 富士重系列向け
  - ・国内、北米における生産増加
- 三菱系列向け
  - ・国内における生産減少
- マツダ系列向け
  - ・国内における生産増加

■機種別 売上高構成

百万円	前期		当期 (期初予想)		当期 (修正予想)		増減		前期比	
		構成比		構成比		構成比		率	増減	率
(1)機構部品	100,927	87.0%	88,470	85.9%	90,090	85.9%	1,620	1.8%	▲ 10,837	▲ 10.7%
シートアジャスタ	100,927	87.0%	88,470	85.9%	90,090	85.9%	1,620	1.8%	▲ 10,837	▲ 10.7%
(2)電装部品	12,348	10.7%	11,860	11.5%	11,890	11.3%	30	0.3%	▲ 458	▲ 3.7%
ランプ	5,084	4.4%	4,330	4.2%	4,470	4.3%	140	3.2%	▲ 614	▲ 12.1%
電子ユニット	5,760	5.0%	6,080	5.9%	6,190	5.9%	110	1.8%	430	7.5%
ホーン	1,504	1.3%	1,450	1.4%	1,560	1.5%	110	7.6%	56	3.7%
(3)その他	2,628	2.3%	2,630	2.6%	2,570	2.4%	▲ 60	▲ 2.3%	▲ 58	▲ 2.2%
合計	115,907	100.0%	102,960	100.0%	104,880	100.0%	1,920	1.9%	▲ 11,027	▲ 9.5%

POINT

シートアジャスタ中心の事業構成に変化ありません。  
前期に対し電子ユニットの売上が増加する見込みです

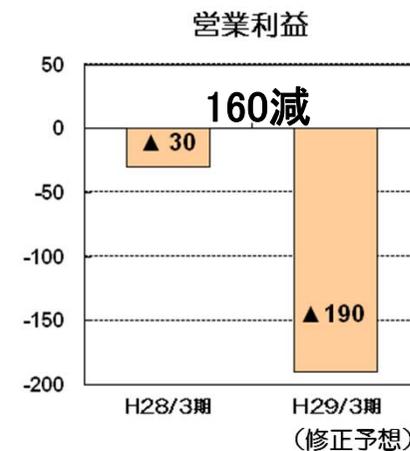
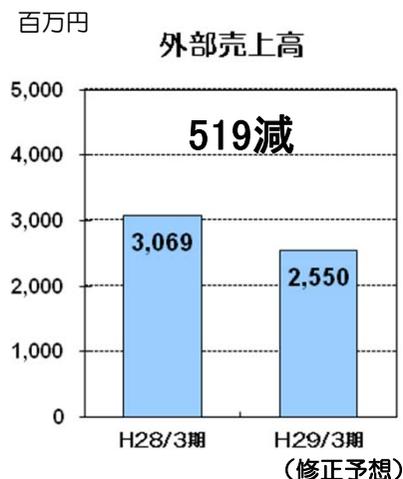


本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

### ■ワイヤーハーネス関連事業

POINT

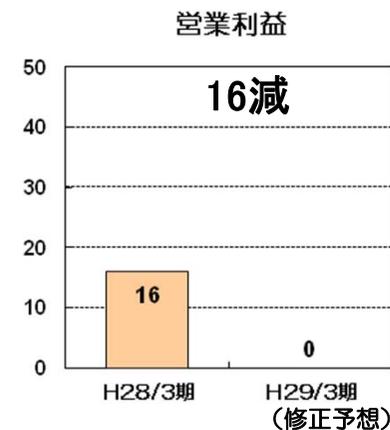
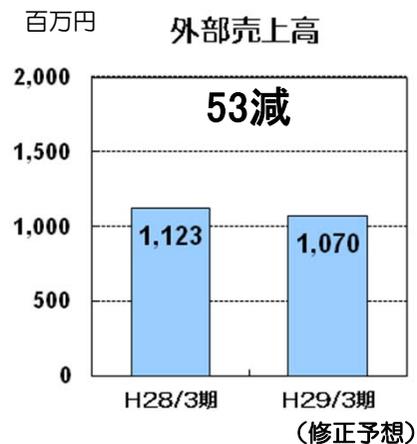
航空機関連、工作機械関連のいずれも減収減益を予想しております



### ■福祉機器関連事業

POINT

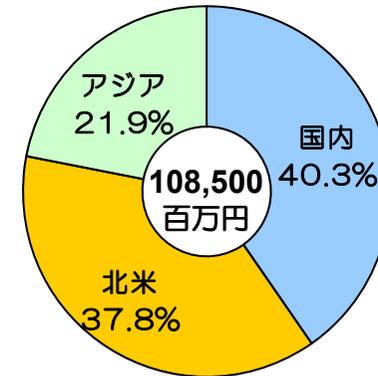
電動車いすの回収・修理に対する一時的な費用増から減収減益を見込んでおります



## ■所在地別売上高構成

百万円		国内	北米	アジア	連結
外部売上高	H29/3期 (修正予想)	43,735	40,960	23,805	108,500
	H28/3期	46,706	46,142	27,251	120,100
	増減額	▲ 2,971	▲ 5,182	▲ 3,446	▲ 11,600
営業利益	H29/3期 (修正予想)	10	893	1,589	2,300
	H28/3期	898	607	1,634	3,202
	増減額	▲ 888	286	▲ 45	▲ 902

所在地別 外部売上高



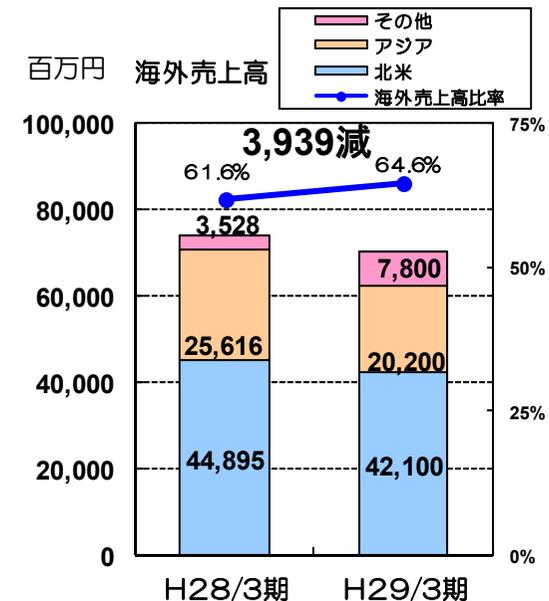
## ■海外売上高

百万円	国内	北米	アジア	その他	連結
H29/3期 (修正予想)	41,300	42,100	20,200	7,800	108,500
H28/3期	46,060	44,895	25,616	3,528	120,100
増減額	▲ 4,760	▲ 2,795	▲ 5,416	4,272	▲ 11,600

※海外売上高とは顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

### POINT

■所在地別の営業利益は北米において原価低減効果により増益を予想



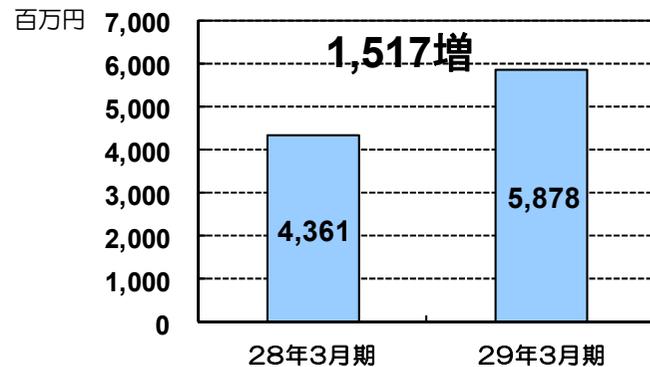
# 29/3予想 設備投資・減価償却費



## 設備投資

### POINT

新規立上り対応による金型投資の増加を見込んでおります

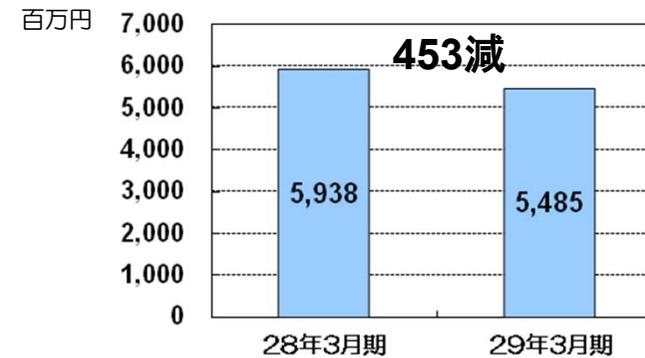


	28年3月期 (実績)	29年3月期 (修正予想)	前期比増減
日本	2,365	3,764	1,399
北米	945	872	▲ 73
メキシコ	183	234	51
中国	485	348	▲ 137
タイ	247	535	288
フィリピン	75	97	22
台湾	19	16	▲ 3
インド	18	10	▲ 8
インドネシア	39	3	▲ 36
合計	4,361	5,878	1,517

## 減価償却費

### POINT

北米において減価償却費の減少を見込んでおります



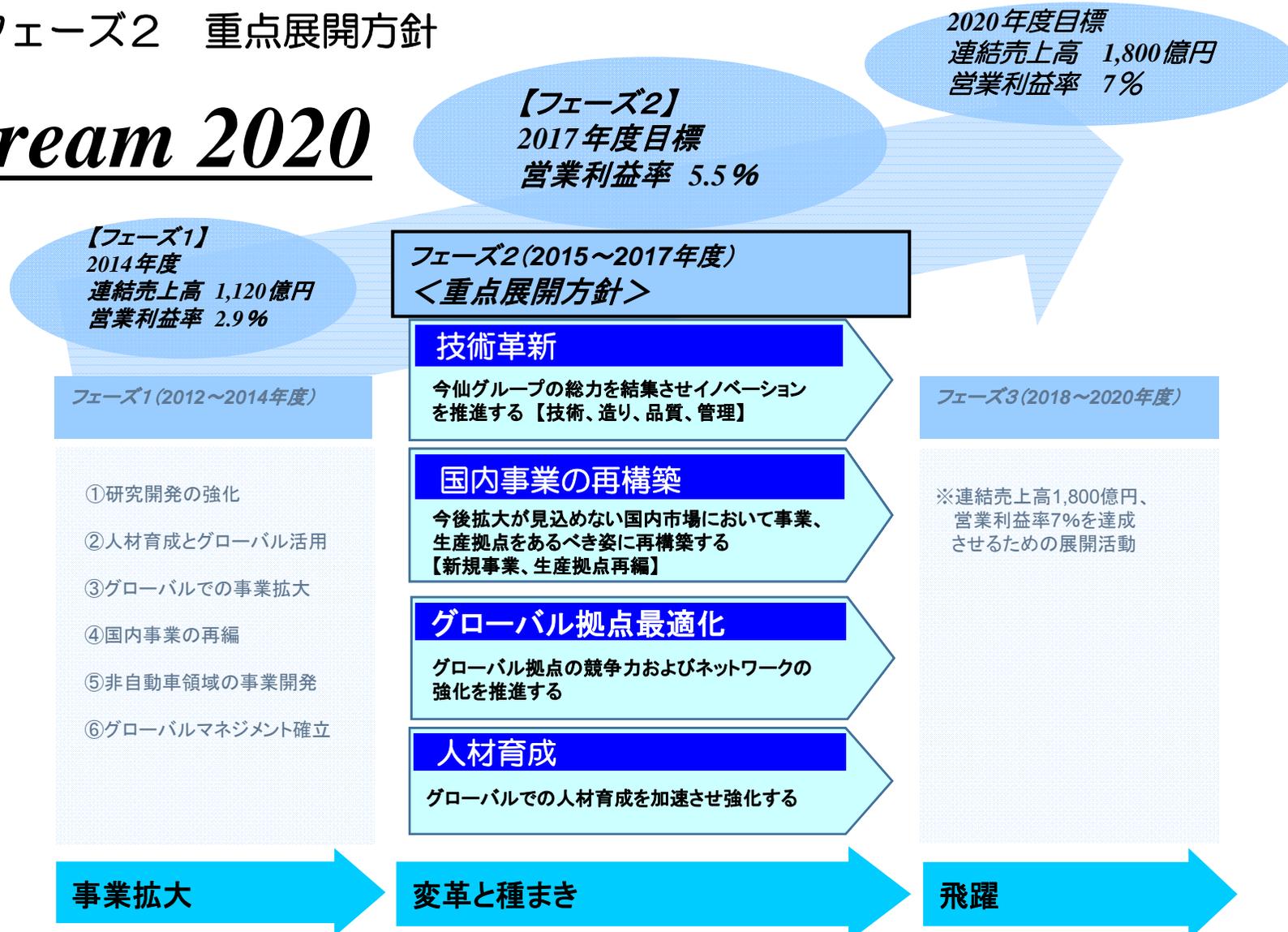
	28年3月期 (実績)	29年3月期 (修正予想)	前期比増減
日本	2,897	2,767	▲ 130
北米	1,659	1,390	▲ 269
メキシコ	107	106	▲ 1
中国	566	601	35
タイ	455	426	▲ 29
フィリピン	98	88	▲ 10
台湾	22	31	9
インド	122	63	▲ 59
インドネシア	8	10	2
合計	5,938	5,485	▲ 453

本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複製及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

## Ⅲ. 今後の経営方針

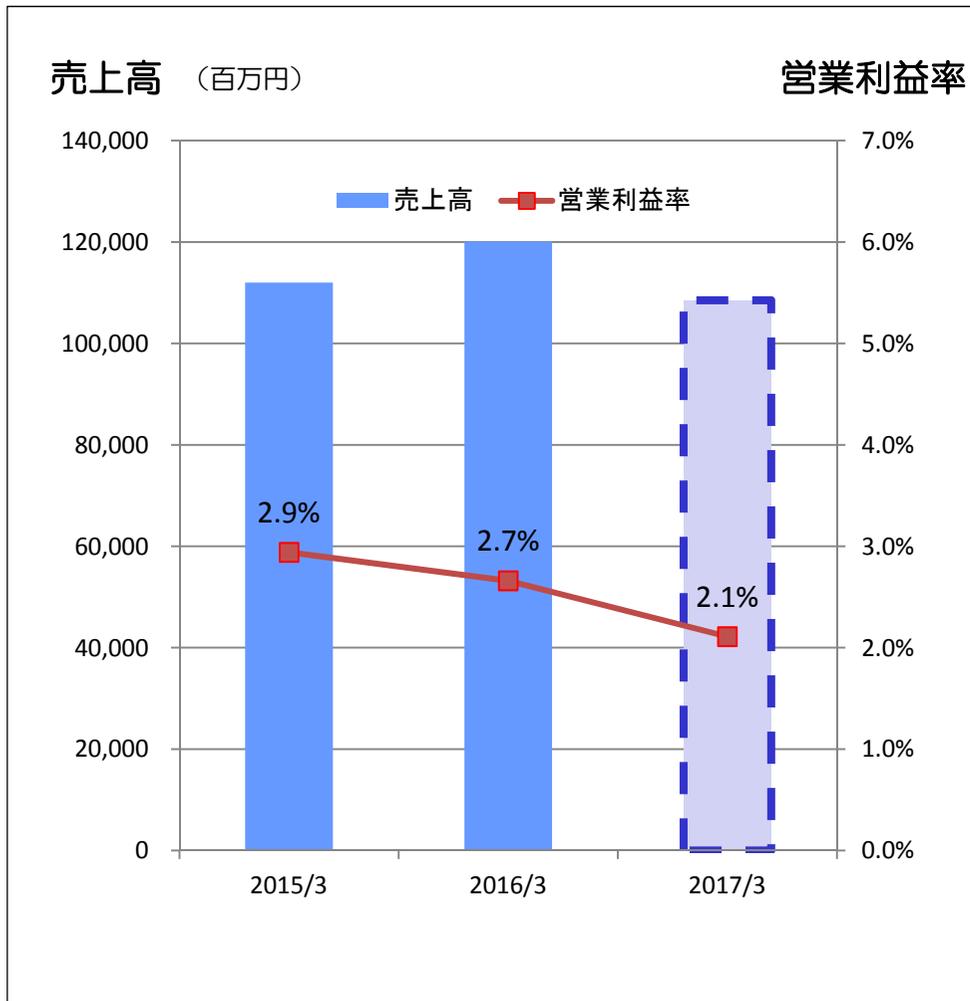
フェーズ2 重点展開方針

# Dream 2020



本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

## Dream2020 フェーズ2の課題



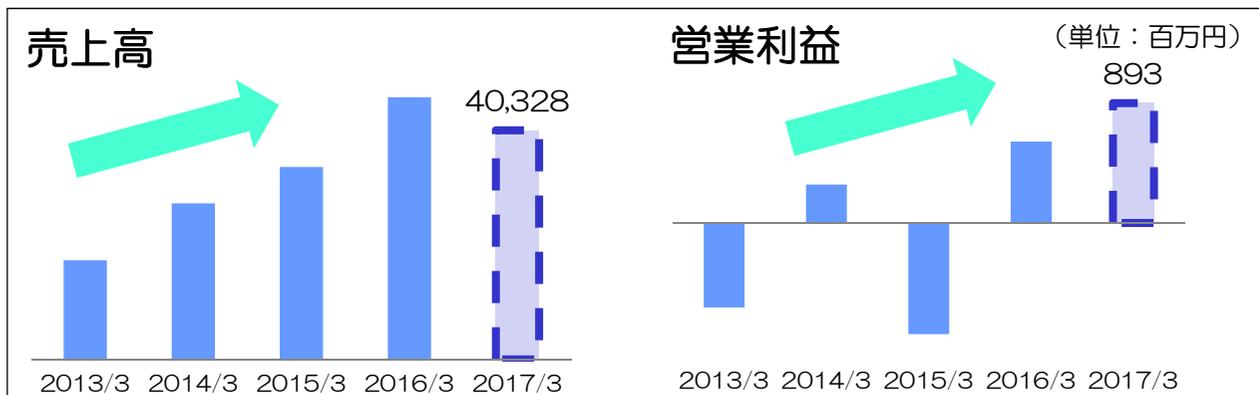
### <経営課題>

- 北米事業の収益改善
- 中国、アジア経済の減速
- グローバル競争激化
- 為替変動リスクの回避



グローバル拠点の最適化を推進

## 北米事業収益改善に向けた取り組み



北米事業（アメリカ・メキシコ）は  
増益の見通し

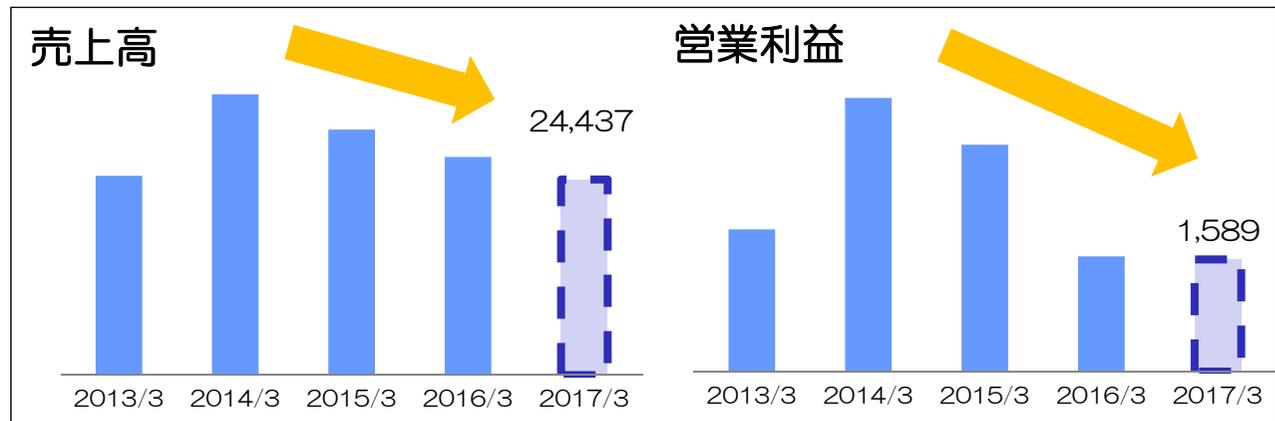
### 日本との連携による改善策の実施

- 生産体制の強化
- 北米3拠点の管理機能、スリム化
- メキシコ拠点の活用による原価低減
- 為替変動に応じた最適な生産体制の検討・対応

～今後の取り組み～

現地における  
拡販活動展開

## アジア事業の収益悪化に対する改善着手



アジアにおいて不透明な経営環境から  
収益は悪化傾向に

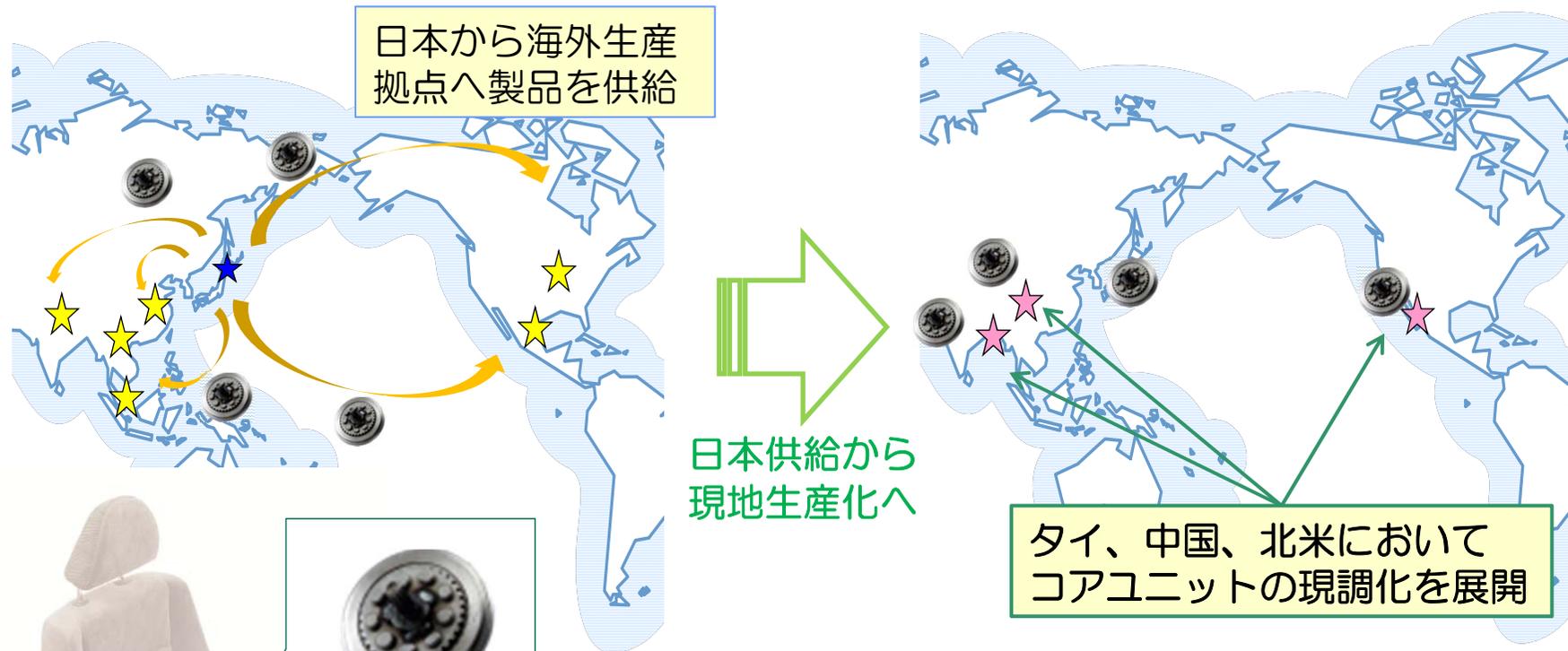
### 売上減少に対しても利益を確保できる体質の構築を図る

- コア製品の現地化
- 原価低減活動の推進
- 現調化、内製化の推進
- 中国3拠点の管理・生産体制の最適化
- インドネシア(販売拠点開設)  
→ 客先の現地化ニーズに対応し拡販を図る

～今後の取り組み～

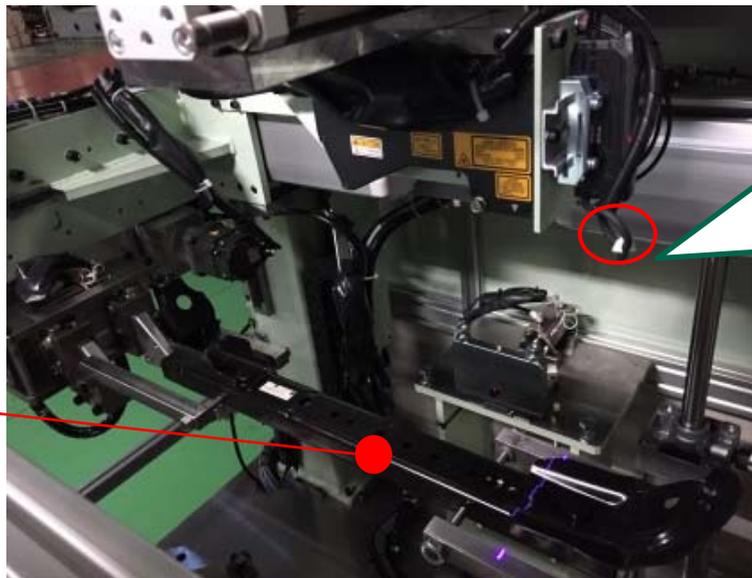
現地における  
拡販活動展開

## 現調化の推進



現地化推進により為替変動を抑制する生産体制を構築する

## 画像処理技術を取り入れたシートレール検査設備



### 【画像処理による確認項目】

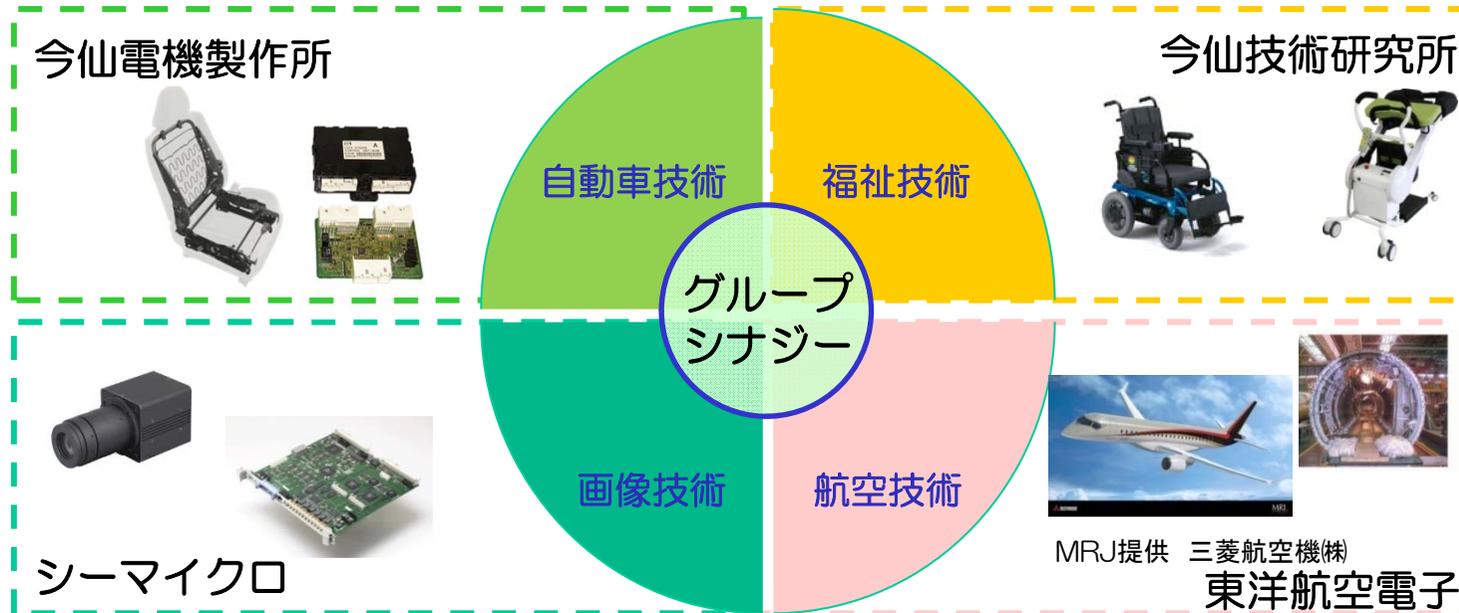
- 部品の有無
- 部品の誤組
- 形状（変形）

<カメラを用いた品質強化の取り組み>

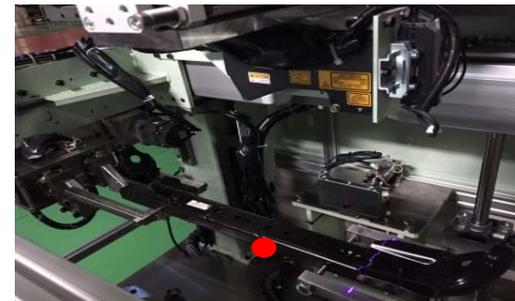
- グローバルで省人化・生産性向上による原価低減の推進
- モノづくりでさらなる品質向上を実現



## <技術革新の取り組み>



<安全運転支援システム>



<シートレール検査設備>

本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

<新商品紹介>

【新型ロングレール】



- 軽量化
- ガタ取り構造
- 車体直止め

【ドアミラーランプ】



- 光源にLEDを使用
- 導光棒による均一面発光
- 前方視認性の向上

## ACTIVEの進化

【ACTIVE】



【ACTIVE Easy fit】



【医療介護】

【両脚用ACTIVE】

【レジャー】

【軽労】

【Super ACTIVE】



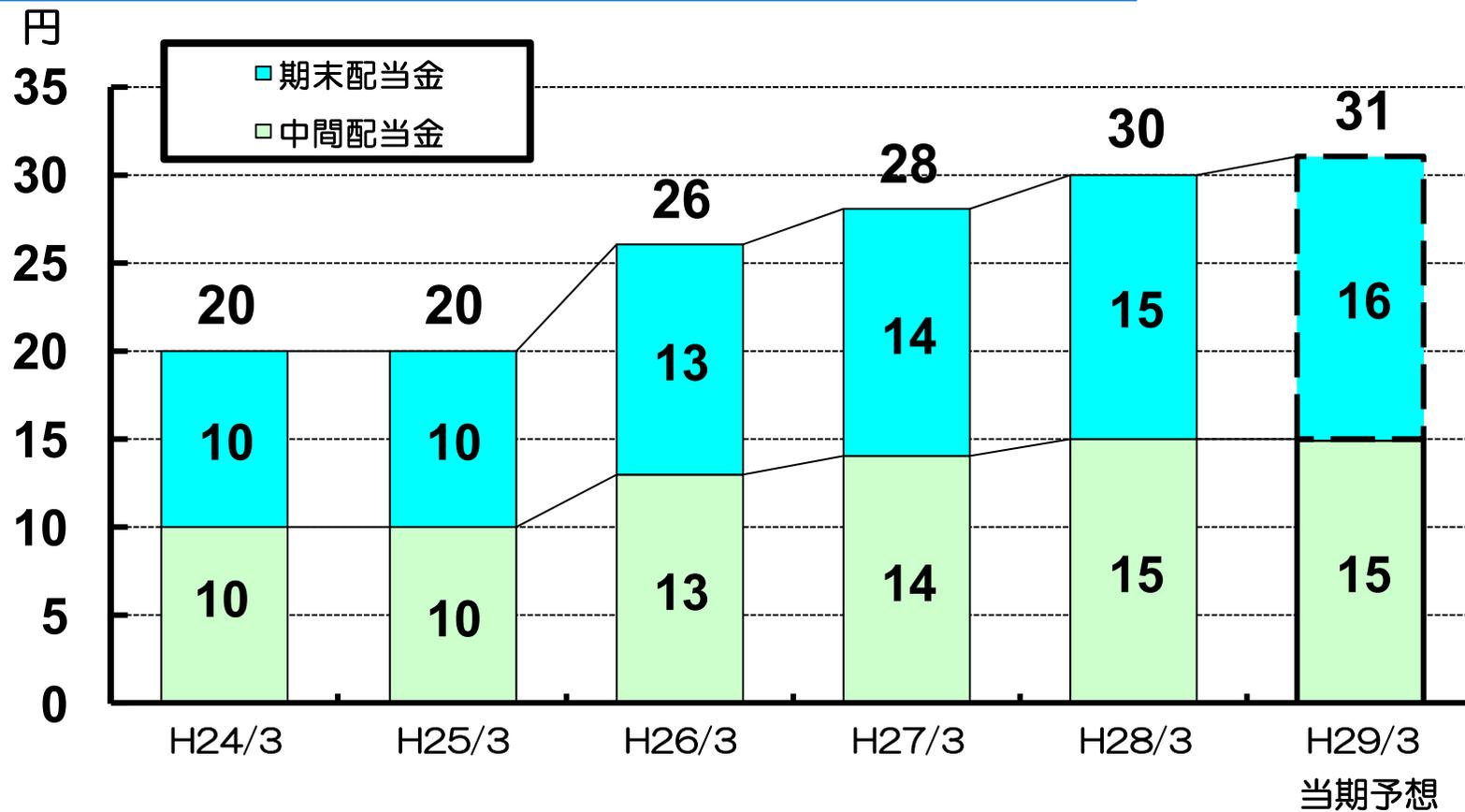
新製品



開発センターを活用した技術革新により収益拡大を図る

## POINT

通期31円を予定しております



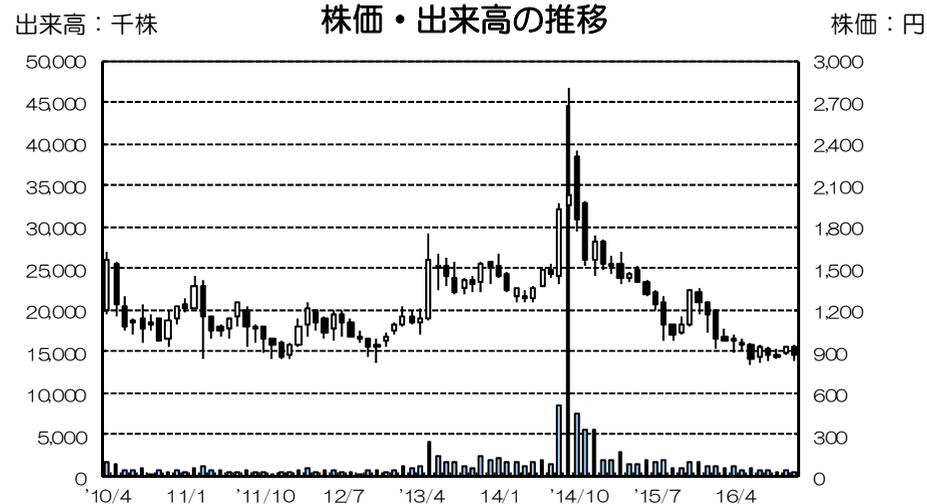
本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複製及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

## 今後のスケジュール

2/8 (水) 第3四半期決算発表予定

※そのほか、今仙グループの最新情報をWEBにて配信しております

<http://www.imasen.co.jp>



## IRに関するお問い合わせ先

株式会社今仙電機製作所  
グローバル経営事業部 経営企画課  
IR担当

TEL 0568-67-1517

<http://www.imasen.co.jp/ir.html>